

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業および研究協議の要旨

市町村名 守口市  
 実践研究校名 佐太小学校

【公開授業】公開日：平成25年11月21日

対象学年：5学年

(教材・教科書名) ・Hi, friends! 1 ・トントンブック【リスニング教材】 (单元名) ・I study Japanese.	(本時の指導の目標) ・時間割に記載されている教科等について、英語で言える。 ・I とwe の使い方について慣れ親しむ。 ・自分で時間割をつくることことができる。
--	--

(本時の授業において工夫した点)

- ・I と we の違いについて、身体を動かしながら体感的に学べるようにした。
- ・自分で決めた時間割を一人一人が発表する機会を持った。
- ・児童の十分な活動量を保証するために場の設定を工夫した。

(授業後の振り返り)

- ・I と we の違いを体感するアクティビティで、グループを作る時に中に入りづらい児童への支援が十分でなかった。
- ・トントンブックで繰り返し学習してきたので、英語を聞き慣れるようになってきた。
- ・授業をテンポよく行うことができた。
- ・顔の筋肉と息を使って発語する活動を続けてきているので、表情豊かに発話していた。

【研究協議】

(テーマ) ワクワク・ニコニコ笑顔の外国語活動 ～みんなで見て、きいて、動いて Let's English～	(指導・助言者) 守口市立滝井小学校 教頭 濱口 和久
--	-----------------------------------

(研究協議で出された意見)

- ・we でグループを作る時に、“we, we, we” なら3人グループ、“we, we” なら2人グループになるように決めていたらスムーズに組めたのでは。
- ・トントンブック【リスニング教材】の使用について：児童の英語を聞く力がついてることがよくわかった。
- ・英語に慣れ親しんでいるようで、カルタゲームで、児童のカルタを取るスピードが速かった。
- ・振り返りの時間があればよかった。
- ・盛りだくさんの内容なのにテンポよく授業が行えていた。

(結論又は要約)

前半のトントンブックによる繰り返し学習で、児童に「聞く力」がついている。

後半の「Hi, friends!」では実際に英語を使って話すなどのコミュニケーション活動に取り組み、トントンブックによって英語を聞き慣れ、親しむことができるようになってきたことにより、英語を話すこともできるようになってきた。